大学・高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F141310111140	設置等組織名	健康データ科学部(仮称)
大学名	西九州大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	佐賀	事業計画名	西九州大学　学部新設

１.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応
令和5年度	1-①令和５年 ５月～新学部設置準備室の設置、運営 1-②令和５年 ６月　新学部設置に関する調査・検討・準備作業 1-③令和５年11月～西九州大学新学部開設における企業様等との連携協議会の開催 2前-①令和５年10月　新学部新棟建設に関する概要設計等開始	1-①令和５年 ６月　新学部設置準備室の設置（令和５年10月　兼務事務職員２名発令） 1-①令和５年12月　設置準備室専用室設置(机・椅子・パソコン等購入)（～令和６年１月） 1-②令和５年 ５月　令和６年４月デジタル社会共創学環設置のために文部科学省への設置届出を提出 1-②令和５年 ６月　新学部設置に関する調査・検討・準備作業 1-②令和５年 ７月　設置準備室会議を複数回開催（～令和６年２月） 1-②令和６年 ３月　新学部開設のため、令和7年度学生定員減の前倒し案を決定 1-②令和６年 ３月　新学部名を健康データサイエンス学部から健康データ科学部（仮称）に変更 1-③令和５年11月～令和６年２月　新学部開設における企業様等との連携協議会開催 2前-①令和５年12月～令和６年３月　新学部新棟建設に関する設計プラン作成	令和5年度自己評価　【３】計画を十分に実施している。
令和6年度	2前-②令和６年 ４月　新学部新棟建設に関する詳細設計等開始	1-①令和６年 ９月　設置準備室の拡充のため、教員5名、職員13名に対し兼務発令を行った 1-②令和６年 ４月　学部等連係課程制度を活用して、「デジタル社会共創学環」を開設 1-③令和６年 ６月～令和７年 １月　新学部開設における企業様等との連携協議会開催 2前-②令和６年 ４月～新学部新棟建設に関する概要設計等開始	令和6年度自己評価　【３】計画を十分に実施している。
令和7年度	1-④令和７年 ４月～リスキリング・リレー市民講座の実施 1-⑤令和７年 ４月　大学設置（新学部）事前相談の準備、打合せ 1-⑥令和７年 ６月　大学設置（学部新設）申請の事前相談の実施 1-⑦令和７年 ８月～令和８年 ３月　大学設置（新学部）申請書の作成、打合せ 1-⑧令和８年 ３月　大学設置（学部新設）申請の実施 1後-①令和８年 ３月　新学部設置認可申請を提出し、許認可までの期間や新学部開設業務に関する設置準備室の業務を継続する。 2-①令和７年 ４月　新学部新棟建設に関する設計管理業務委託 2-②~~令和７年10月　新棟建設工事の着工~~ 令和７年12月　新棟建設工事の入札、契約、着工　工期（令和７年12月から令和９年2月） （R8.3.4承認）	1-③令和７年 ６月～令和７年 ８月　新学部開設における企業様等との連携協議会開催 1-④令和７年 ４月～12月　リスキリング・リレー市民講座として5つの講座を開講し、延べ111名の参加があった。 1-⑤令和７年 ４月～大学設置（新学部）事前相談に向け、打合せを行い準備を進めた 1-⑥令和８年 １月　文部科学省によるWeb相談を実施 1-⑦令和７年 ８月～令和８年 ３月　複数回の打合せのうえ、設置認可申請書を作成 1-⑧令和８年 ３月　文部科学省へ設置認可申請を行った 1後-①令和８年 ３月　新学部開設業務に関する設置準備室の業務を継続する。 2前-②令和７年 ５月～11月　基本設計業務及び実施設計業務を委託。 2-①令和７年 ５月～基本設計業務、実施設計業務及び管理業務委託（令和9年3月まで予定） 2-②令和７年12月　新棟建設工事の入札、契約を行い、着工した。 工期（令和7年12月から令和9年2月）	令和7年度自己評価　【３】計画を十分に実施している。
令和8年度	2-③令和８年10月　学生募集の開始 2-③令和９年 ２月　新棟建設工事の竣工・引渡		令和8年度自己評価　リストから選択してください。
令和9年度	3-①令和９月 ４月　新学部の設置・新入生受け入れ開始 3-②令和９年 ４月　自走化への取組		令和9年度自己評価　リストから選択してください。
令和10年度			令和10年度自己評価　リストから選択してください。
令和11年度			令和11年度自己評価　リストから選択してください。
令和12年度			令和12年度自己評価　リストから選択してください。
令和13年度			令和13年度自己評価　リストから選択してください。
令和14年度			令和14年度自己評価　リストから選択してください。
認可申請 又は届出	令和８年 ３月　健康データサイエンス学部(仮称）設置認可申請予定	令和８年 ３月　健康データ科学部(仮称）設置認可申請	
定員減又は 学部等の廃止	令和６年 ６月　健康栄養学部健康栄養学科10人減員に係る届出予定（入学定員110人、家政学関係） 令和６年 ６月　健康福祉学部社会福祉学科20人減員に係る届出予定（入学定員70人、編入学定員0人、社会学・社会福祉学関係） 令和６年 ６月　リハビリテーション学部リハビリテーション学科10人減員に係る届出予定（入学定員70人、保健衛生学関係） 令和６年 ６月　子ども学部子ども学科10人減員に係る届出予定（編入学定員0人、教育学・保育学関係） 令和６年 ６月　西九州大学短期大学部幼児保育学科10人減員に係る届出予定（入学定員80人、教育学・保育学関係） 令和８年 ６月　デジタル社会共創学環（学部等連係課程実施基本組織）学生募集停止予定 令和８年 ６月　健康栄養学部健康栄養学科30人減員に係る届出予定（入学定員80人、家政学関係） 令和８年 ６月　健康福祉学部社会福祉学科30人減員に係る届出予定（入学定員40人、社会学・社会福祉学関係）	令和６年 ６月　健康栄養学部健康栄養学科10人減員に係る届出（入学定員110人、家政学関係） 令和７年度　　健康栄養学部健康栄養学科10人減員（同上） 令和６年 ６月　健康福祉学部社会福祉学科20人減員に係る届出（入学定員70人、編入学定員0人、社会学・社会福祉学関係） 令和７年度　　健康栄養学部社会福祉学科20人減員（同上） 令和６年 ６月　リハビリテーション学部リハビリテーション学科10人減員に係る届出（入学定員70人、保健衛生学関係） 令和７年度　　リハビリテーション学部リハビリテーション学科10人減員（同上） 令和６年 ６月　子ども学部子ども学科10人減員に係る届出（編入学定員0人、教育学・保育学関係） 令和７年度　　子ども学部子ども学科10人減員 令和６年 ６月　西九州大学短期大学部幼児保育学科10人減員に係る届出（入学定員80人、教育学・保育学関係） 令和７年度　　西九州大学短期大学部幼児保育学科10人減員（同上）	

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	西九州大学

２.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ）「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

３.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。

② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。

④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。

⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。

⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。

⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。

⑨ 事業計画の選定があった日から４年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）

⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。

⑪ フェーズ３の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去５年間の中央値３年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文部科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑭について	現在の状況
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

４.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度　の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通した教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

■ チェック　a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
■ チェック　b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
■ チェック　c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
新学部では、企業や自治体との連携の下で、重要課題をテーマに、現実のデータを使用してPBLを実施する。この教育システムの成功の鍵は、経験豊かな教員配置と企業との連携である。まずは、連携企業にお願いして、デジタル関係の実績を披露して頂き、学生たちの視野を広げ、現実社会で課題となる事項を認識から始め、実務家教員による演習や実習がある。この実務家教員は本学の研究に参加している方が多く、教育力もある。さらに、佐賀大学や長崎大学のIT分野の教員が授業を通して未来社会のDX化の重要性が学生達に伝えられる。佐賀県とは地域課題の解決に向け、研究面での連携を図ると共に、IT企業等との幅広いネットワークを介して、PBLへの講師派遣やインターンシップの実施等にご協力頂き、産学官連携による教育体制を構築する計画である。さらに、海外の協定大学にはデータ科学・情報工学の分野があり、教員の相互訪問や学生の単位互換を備えた交換留学プログラム制度を可能にして国際化を進める。	企業や自治体と連携した科目の整備・実施について、実践的なPBLやインターンシップの実施に向けた企業等とのネットワーク構築を進め、41の企業・団体より、新学部の一学年の定員（100人）を超えるインターンシップの実習枠（131人分）を確保した。また、令和7年9月8日に一般社団法人鹿島デジタル社会推進協会と「包括的連携・協力に関する協定」を締結し、同協定に基づき数理・データサイエンス・AI・DX教育や教育活動および教育課程の評価等の分野において連携・協力を図り、産学官連携による教育体制の基盤を強化した。 関連分野に強みを持つ地域の他大学等と連携した科目の整備・実施について、令和8年3月23日に社会が求めるDX人材の資質向上と地域社会のDX化推進を目的として、佐賀大学及び県内のDX/イスクール（唐津東高校、唐津西高校、嬉野高校、唐津青翔高校、早稲田佐賀高校）とともに「DX高大連携コンソーシアム佐賀の設立に関する協定」を締結し、高大連携の教育体制を構築した。	

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

■ チェック　a.入学者選抜における科目の見直し
■ チェック　b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
■ チェック　c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
■ チェック　d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
■ チェック　e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
入学者選抜に関しては、普通高校のみではなく、商業高校や工業高校の卒業生が入学できる選抜方法や数学及び英語の必修化を検討する。女子学生の確保に関しては、佐賀大学、長崎国際大学、佐世保工業高等専門学校と連携して、リケジョ推進事業として３年前から実践しており、入学選抜にも女子枠を検討する。この取り組みは、文部科学省から連続して補助金を頂いている。この事業の外に、大学独自の事業として近隣県の高校や小中学校に出向く、出前授業も行っている。さらに、社会人受け入れに関しては編入学制度で対応する一方、30年前から高齢者を対象としたエルダーカレッジを開いて知識を新しくしたい市民の教育にあたっている。また、留学生に関しては、本学が協定している海外の大学や日本語学校と連携を深め、受け入れを強化している。なお、学生たちの教育に関しては教員のみの指導体制を改め、先輩が後輩を指導するSA制度の実施が中期目標に掲げられた。	入学者選抜における科目の見直しについて、普通高校のみならず商業高校や工業高校の卒業生等が入学しやすいよう、本学で既に実施している多様な選抜方法（総合型選抜や学校推薦型選抜等）を新学部においても導入することを決定した。また、申請時の検討計画に基づき、一般選抜や大学入学共通テスト利用選抜において「数学Ⅰ・数学A」を必須科目として設定した上で、より高度な数学力を適切に評価するため選択科目として「数学Ⅱ・数学B」等も設定した。さらに、入学試験合格後に数学的な見方・考え方を振り返り、今後の学修に必要な資質・能力を診断する入学前教育で使用するため、本学教員が編纂する教科書の作成に着手した。 女子学生の確保に向けた取組について、理系分野における女子学生を確保するリケジョ推進の取組の一環として、また多様な背景を持った学生の受入れに配慮するため、学校推薦型選抜（学校長推薦Ⅰ期・Ⅱ期）および一般選抜（Ⅰ期～Ⅲ期）の募集人員内に「女子枠」を設定することを決定した。さらに、リケジョ推進事業として、9月に佐賀大学、長崎国際大学、佐世保工業高等専門学校等と合同で女子中高生等を対象とした「リケフェス」を開催した。 地域の初等中等教育段階の学校との連携について、10月に長崎県立大村高校においてデリバリング講座（出前授業）を実施し、高大連携を通じた教育活動を展開した。 社会人学生の受入れ強化に向けた取組について、4月から12月にかけて、AIやドローン、ICT技術などをテーマとしたリスキリング・リレー市民講座（全5講座）を開講し、延べ111名の参加があった。 留学生の受入れ強化に向けた取組について、台湾からの留学生の確保を拡大するため、現地の機関である北大聯合開發有限公司との間で令和8年度の締結に向け協定内容の調整を行った。	

大学名	西九州大学

本事業対象となる学部等の個数	1

１.本事業対象となる学部等の状況

＜内訳＞

(1)

改組内容	学部の新設
学部学科名	健康データ科学部(仮称）（工学関係）

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
改組状況				選定																		
事業計画に定める定員		入学定員	人					100														
		編入学定員	人																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	-	-															
		入学者数(B)	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	-	-															
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-	-	-															
		編入学定員	人	-	-	-	-															
		在籍者数(D)	人	-	-	-	-															
		編入学者数	人	-	-	-	-															
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	-	-															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	-	-															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-	-	-															
		授業科目の単位数	単位	-	-	-	-															

大学名	西九州大学

２.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	-	-															
		入学者数(B)	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	-	-															
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-	-	-															
		編入学定員	人	-	-	-	-															
		在籍者数(D)	人	-	-	-	-															
		編入学者数	人	-	-	-	-															
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	-	-															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	-	-															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-	-	-															
		授業科目の単位数	単位	-	-	-	-															

大学名	西九州大学

３.大学（学士課程）の状況

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	540	540	510	510															
		入学者数	人	466	433	491	505															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	540	540	510	510															
		入学者数(B)	人	466	433	491	505															
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.86	0.80	0.96	0.99															
	収容定員等	収容定員(C)	人	2200	2200	2150	2100															
		編入学定員	人	20	20	0	0															
		在籍者数(D)	人	1939	1837	1852	1880															
		編入学者数	人	9	10	16	12															
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.88	0.84	0.86	0.90															

４.外部資金の状況（全学）

年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
改組状況	申請−5年	申請−4年	申請−3年	申請−2年	申請−1年	選定													
項目	単位																		
外部資金獲得額	千円	36,980	43,108	42,813	54,076	56,178	119,062	84,275	99,110										

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 （過去5年間における各年度の外部資金	千円	46,666
本事業による助成金の額(F)	千円	1,195,000
フェーズ３の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	76,541

特記事項

令和7年度以降の編入学定員0人とは、未充足の補充（若干名）を意味している。